

# 湖西市津波防災地域づくり推進計画 第2回意見交換会

(津波浸水想定区域外)

～ 地域で安全な未来をつくる会 ～

開催報告 (暫定版)

日時：令和5年7月23日(日)

9時30分～

場所：西部地域センター 2階講座室

## <次第>

1. 開 会
2. 挨拶
3. 第1回意見交換会の振り返り
  - ・湖西市の災害リスク
  - ・災害時の行動
  - ・第1回意見交換会及び沿岸域説明会におけるご意見
4. 意見交換  
テーマ「地域の課題と目指すべき姿」
5. 総 括  
静岡大学 防災総合センター 原田賢治 准教授
6. 閉 会

## <意見交換会の様子>



## ＜意見交換会における意見概要＞

### 「逃げる」に関する課題・不安に思うこと

- 津波の想定、避難所周辺の土砂災害に対する安全性に不安がある。
- 避難行動について、自分の身は自分で守るという考えのもと、持ち出し品の確認や家具の耐震対策、家族間の連絡手段の確保、災害弱者に関する把握と個人情報保護も踏まえた対策が課題である。
- 避難経路・避難場所について、避難場所・土砂災害警戒区域・液状化範囲等の確認、避難ルートの中には古い橋があることから避難時のルートを複数確保すること、避難先等の場所を分かり易く示すことが必要。
- 避難後について、避難生活用備品の設置、食料の確保、プライバシーや衛生面等の避難所での生活の質、地域間の資源の差に不安がある。
- 同報無線の設置、建築会社や企業との連携強化、地域の災害時における人材資源の確認、地域別に設定された避難先のルールの見直しが必要。

### 「土地利用」に関する課題・不安に思うこと

- 津波で高台に避難する際、土砂災害の危険があり不安。
- 液状化による家屋への影響、土砂災害による家屋倒壊が不安。

### 「守る」に関する課題・不安に思うこと

- 防潮堤の整備高がレベル2津波に対して足りていない現状があり不安。
- 防潮堤の機能を見誤らないことが重要。防潮堤の役割は逃げる時間の確保であり、防潮堤があるから安心してはいけない。子どもへの教育も必要。
- 施設整備については、生活に関連した他の施策とのバランスを考えた方がよい。

### 「その他」課題・不安に思うこと

- 自助の意識、地域内・家族間での防災意識の共有が必要。
- 地域力が弱まっているため、まずはお互いを把握していきたい。

### 「今後目指すべき姿」

- 自分事として防災を考え、日頃から防災について話し合い、自分から行動し、お互いに助け合えるまちをつくる。
- 生き残った人が避難生活中に亡くなることがないように、避難所等でも安心して過ごせるまちを目指したい。
- 自分の命・財産は自分で守ることを基本としつつ、自治会や地域の人たちが協力して共助の取り組みを行えるようにしたい。